



東武鉄道株式会社
東武緑地株式会社

東武宇都宮線南宇都宮駅を四季折々のフラワーアレンジメントと 窓ガラスアートで彩り、「いちご王国」ラインを盛り上げます！

(歴史と趣のある駅舎に 植物×アートの力をプラス)

東武鉄道（本社：東京都墨田区、取締役社長：都筑 豊）と東武緑地株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：青木 雅彦）では、東武宇都宮線南宇都宮駅において「地域と駅をつなぐ」をコンセプトとして、花の装飾と地元出身の女性アーティストによるミューラルウィンドウペイント（窓ガラスに絵を描くアート）を実施しました。

当社と東武緑地ではこれまでも、栃木県で2022年秋に開催された「いちご一会とちぎ国体」ならびに「いちご一会とちぎ大会」両大会を盛り上げるための県民運動「オールとちぎプロジェクト（第2弾）いちご一会花育て隊」に参加し、会場最寄駅である東武宇都宮線の各駅を駅近辺の小学校や保育園の協力のもと花いっぱい装飾することで、電車でお越しいただくお客様をお出迎えするイベントを実施しました。

本年度については「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加し、壬生駅において地元の小学校にご協力いただき種まきイベントを実施しました。

本取り組みについては、これからも継続的に取り組んでいくものとし沿線にたくさんの花を咲かせ、宇都宮線の観光名所としての創出等、沿線価値の向上に繋げてまいります。

詳細は別紙のとおりです。



△植物と窓ガラスアートで装飾された南宇都宮駅

東武宇都宮線 南宇都宮駅構内の装飾について

南宇都宮駅は、地元宇都宮市大谷町で産出される石材大谷石を使った駅舎として、開業以来およそ 90 年にわたり地域のシンボルとして親しまれてきました。このモダンな駅舎を四季折々のフラワーアレンジメントで趣のある街並みや景観を意識したデザインと、ドライフラワーやフェイクフラワーを取り入れ 2025 年の四季を彩ります。

さらに宇都宮市在住のアーティスト もときみちこ氏によるミューラルウインドウペイント（窓ガラスに絵を描くアート）では 駅舎の 3 か所の窓ガラスに <地域と駅をつなぐ>をコンセプトとして、それぞれのテーマをもとにメッセージを描いていただきました。



Profile

もとき みちこ

宇都宮市在住

絵描き・グラフィックデザイナー・ペインター

文星短期大学グラフィックデザイン科を卒業後

デザイン会社・企業広報・広告代理店にてチーフデザイナー・
アートディレクターを

経て 2016 年フリーランスに

ミューラルウインドウペイント

ワークショップ

講師業と幅広く活動中



△宇都宮文化会館×南宇都宮駅

音楽・絵画・パレエ etc.

アートと人をつなげる駅



△花いっぱい運動×南宇都宮駅

四季折々の花々を通して地域住民の

皆様とつながる駅



△未来にはばたく子供たち×南宇都宮駅

小学校の頃の種まきの思い出

ここから未来へつながっていく駅

（南宇都宮駅について）

南宇都宮駅は 1932 年（昭和 7 年）4 月 17 日に開業し、2020 年に駅舎リニューアル工事を実施しました。

修復にあたり開業当時からある縦貼り・横張りの大谷石、縦長の三連窓、出入口上部の欄間、待合室内の格天井、庇の持ち送り等は補修により保存しつつ、新たに大谷石の壁面を増設し、全体のデザインを統一しました。青緑色の洋風瓦は、釉薬（ゆうやく）の調合と試し焼きを繰り返し、同駅新築時の色合いを再現すると共に、待合室内装等の塗装面は塗膜を調査・分析し、開業当初の塗装色に塗り直しています。また、特徴的な破風板は、宇都宮市宮原球場の最寄駅であることに由来するバットとボールを模した開業当初のデザインに修復しました。